

鉄道ピクトリアル

2010年7月号 Vol.60 No.7 通巻No.835

<特集> 客車の記録

■表紙 推進回送で上野へ向かう「北斗星」……………進藤 匡

尾久 2010-5-9

キヤノンEOS-1Ds Mark III EF300mmF2.8L IS 絞り f 4.0 タイム1/30 ISO640

■グラフ

走り去った日々 (1~8ページ)

河原慶明・和田京太・吉里浩一・静 拓志・佐藤利生・桑村和宏
眼目佳秀・石原裕紀・森 友紀・白土洋次・藪下茂樹・小野啓一
金子 聡・澤木良直・山中 茂・山口 徹・杉本民樹・浜村正弘
関根敏男・藤木正成・太田正行

*

戦後混乱期の痕跡が残る時代の客車の記録から

……………伊藤 昭・伊藤威信… 41
旧形客車がいた頃……………構成：編集部… 44
国鉄客車の近代史 栄枯盛衰の半世紀……………構成：編集部… 46
旧形客車時代の電源方式と保守の現場……………中村 光司… 54

*

Pictorial Color Gallery あさま色の里……………加藤 和毅… 89

〔JR西日本キハ189系/JR北海道735系電車/名古屋市交通〕92~99
局桜通線用6050形/富山地方鉄道市内線用T100形ほか
トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)……………100
阪急のヘッドマーク付列車 2009年度版……………成瀬 伸夫…108
相模鉄道 最近の動きから……………構成：大里信之…110
JR北海道 ゴールデンウィーク道東の話題から……………佐藤 邦弘…112

■本文

今月の話題：客車の記録……………編 集 部… 9
国鉄客車の近代史—1960年代から現在に至る客車の消長—

……………岡田 誠一… 10
客車の電源方式をめぐって……………中村 光司… 25
1970年代 客車の印象……………竹中 寿人… 35
最後の客車急行「はまなす」 編成の記録……………笹田 昌宏… 39
JR発足以降の客車列車……………寺本 光照… 57
「日本海」に運用されるオロネ24形に乗る……………真鍋 裕司… 72
私が乗った私鉄の客車列車……………和久田康雄… 78
南海の二軸客車……………澤内 一晃… 82

*

鉄道の話題……………編 集 部… 88

映画「RAILWAYS~49歳で電車の運転士になった男の物語」 スタッフインタビュー……………構成：鹿瀬秀明 (113~120ページ)

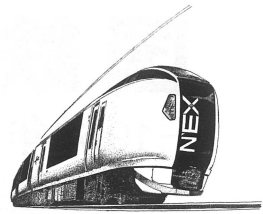
緩衝式車止めの形態と分布①……………初澤 毅…121
グローバルに都市・地域鉄道や路面電車事業を展開する事業者たち……………柴山多佳児…126

JR西日本キハ189系……………鍋谷 武司…133
JR北海道735系……………泉 弘之…138
平成22年度JR事業計画と設備投資……………編 集 部…144
京阪電鉄開業100年に寄せて② 交野線と京津16形……………沖中 忠順…150
成田スカイアクセスで乗務員習熟訓練運転始まる……………稲葉 克彦…155
赤坂見附駅改装工事に垣間見る東京高速鉄道の遺構……………小野田 恵…156
書評(558)『中国の都市・建築と日本』……………小野田 滋…157
4月のメモ帳……………158
読者短信・情報ファイル……………159
後部車から……………163

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

客車の記録

鉄道車両を大別すると機関車、旅客車、貨車の3つに分類できる。これは鉄道発祥以来、列車を構成する基本的な車種であり、時を経て電気車やディーゼル車が生まれ、多彩な列車が出現するとともに、車種も動力方式や用途によりさらに細分化されるようになった。旅客車には電車や気動車に加わり鉄道輸送の発展を支えてきたわけだが、古来の車種である客車も、いうまでもなくその一翼を担ってきたのである。客車には各等級の座席車、食堂車、寝台車、郵便・荷物車など、多種多様な車両が製作され、電車など新しい動力が発展途上にあった、少なくとも昭和20年代までは旅客車の主役として活躍した。時代を代表する特急・急行から地方のローカル列車に至るまで、全国各地で客車が運用され、戦後復興期の鉄道輸送に大きく貢献した。

しかし、昭和30年代以降、客車は長距離列車などに運用の主軸を移していく中で、動力近代化による電車・ディーゼル車の進出はめざましく、客車の活躍範囲は著しく低下していった。最盛期は約11,500両在籍していた客車は、国鉄改革では約3,000両のみがJR各社に継承され、その後の社会情勢の変化による夜行列車の減少によって、現在は400両弱にまで落ち込む状況となった。諸外国においては客車列車が今も多数運用される鉄道が多い中で、なぜ日本の客車は衰退したのか、それはブッシュプル方式が定着しなかったことをはじめ、さまざまな要因が考えられよう。個性溢れる客車の姿、あるいは機関車に牽かれ、客車を連ねた列車が走りゆく様は鉄道シーンの原点であり、忘れがたい鉄道の情緒である。鉄道が大きく変貌しつつある中で、その魅力と興味が次世代に引き継いでいきたいものである。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI

Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan